

令和2年春の農作業安全運動強化期間 4月15日～6月30日

今日も無事故で家族が待つゴールへ

1年間に全国で約300名の方が、農作業事故により亡くられており、ここ数年減少傾向ですが、岡山県内では過去5年間で若干増加傾向にあります。

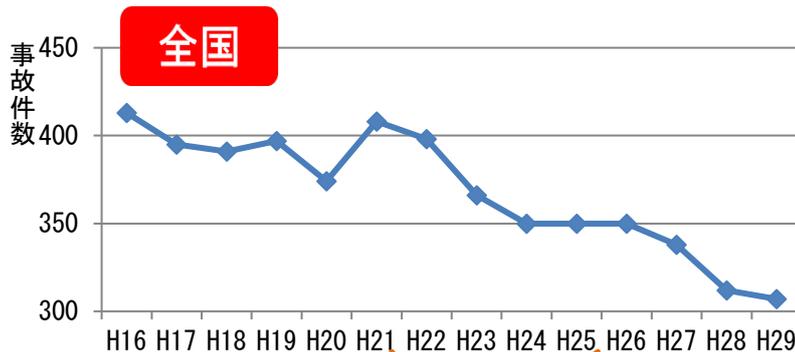
農作業中の死亡事故のうち最も多いのは、乗用型トラクターによるもので、転落・転倒などの事故が後を絶ちません。

特に高齢になると、今までと同じ操作をしているつもりでも、誤操作をしてしまうことがあります。慢心は禁物です。

不慮の事故は、あなたの大切な家族の生活を一変させます。安全第一を心掛けて農作業に取り組んでください。



年次別農作業死亡事故発生状況



死亡事故の8割以上は高齢者です！
(※65歳以上)



事故の重大化を防ぐために！

事故対策に完全はありません。事故を起こしたとしても、すぐに救助が行われれば、助かる命もあります。次のことを日頃から心掛けましょう。



家の近くであっても、携帯電話を携帯しましょう。

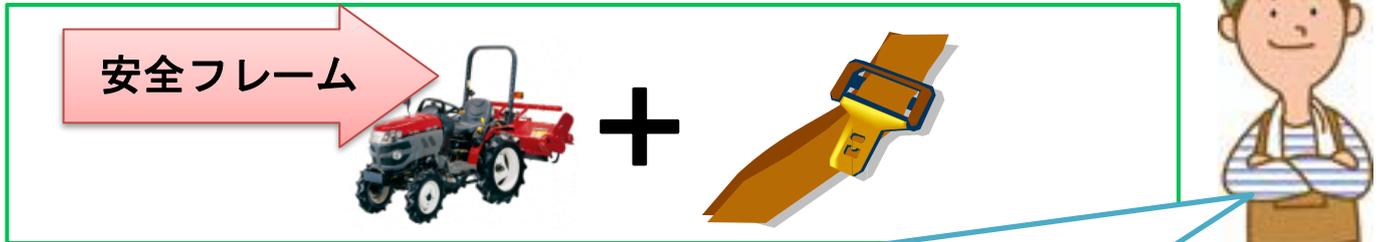
その日の作業計画(内容・場所)を家族に伝えておきましょう。

道案内ができるように、ほ場までの経路上の目印を確認しておきましょう。



乗用型トラクターの安全対策を見直そう！

①安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用し、シートベルト着用を徹底しましょう！

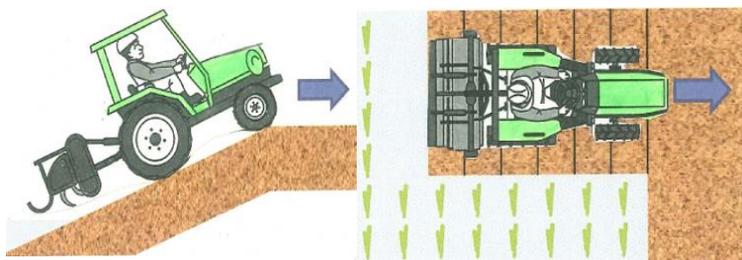


安全キャブ・フレームのあるトラクターでもシートベルトを着用しなければ、安全域の中に身体が固定されないため、転倒した際に身体を守ることはできません。

②作業環境を確認し、危険性に配慮しましょう！

トラクターの事故の発生事例としては、ほ場から出入りする際の傾斜による転倒や、ほ場の端から法面に転落するケースが数多く報告されています。

以下のような点に注意し、事故を起こさない環境作りを心がけることが重要です。



作業機を下げて、傾斜に対して直角の向きで入退出しましょう。



危険が潜む場所は草刈りで見通しをよくしましょう。

体調管理にも気をつけよう！

春先の季節の変わり目は体調に注意が必要です。
日ごろから体調管理に気をつけ、体調が悪い時は無理せず休養しましょう。
春先の熱中症にも注意が必要です。

